

### ◆ 新型インフルエンザに注意

新型インフルエンザは、動物の間でしか感染していなかったウイルスが変異して人に感染し、さらに人から人へも感染するようになったものです。免疫を持つ人がいないため大流行し、重症化する可能性があります。しかし、不必要に恐れず、被害を最小限に食い止めるため今から予防法をしつかり身につけておきましょう。

### ■ 個人でできる感染予防法

▽ 正確な情報を入手  
国、県、市町村などが発表する正確な情報に基づいて、冷静に対応することが大切です。

### ▽ 手洗い、うがいの励行

インフルエンザは、飛沫感染と接触感染で広がります。予防には、水と石けんを使って丁寧に手を洗い、清潔なタオルでふき取ります。このタオルは人と共用しないようにしましょう。外から帰ったらうがいを十分にしましょう。

### ▽ マスクの着用

咳、くしゃみがある場合は必ずマスクをつけましょう。ガーゼより不織布製のものが効果的です。鼻と口を覆うよう正しく着用しましょう。

### ▽ せき、くしゃみをする際は、

せき、くしゃみをする際は、ティッシュなどで口と鼻を被い、他人から顔をそらして、1〜2杯以上離れます。使ったティッシュはごみ箱に捨て、すぐに手を洗います。ティッシュがない場合は口を袖口などで抑え、極力飛散しないようにしてください。

▽ 人ごみや繁華街への外出  
流行している地域へ出掛けるのを控えることも大事です。外出時は不必要に口、鼻、目には触れないようにします。

### ※ 飛沫感染とは？

感染者のせきやくしゃみなどに含まれるウイルスを、鼻や口から吸い込むことで感染するものです。

### ※ 接触感染とは？

ドアノブやつり革など、ウイルスが付いたものを触った手で、口や目の粘膜に触れることで感染するものです。

ティッシュなどで口と鼻を被い、他人から顔をそらして、1〜2杯以上離れます。使ったティッシュはごみ箱に捨て、すぐに手を洗います。ティッシュがない場合は口を袖口などで抑え、極力飛散しないようにしてください。

## 保健のひろば

☎76-2111・内線1151 市市民部保健課



外から帰ったら、きちんと手を洗いましょう

## 環境のみらい

☎76-2111・内線1137 市市民部市民課



### ◆ ごみは、決められた場所に出してください

最近、決められた場所以外にごみを出している人がいるという苦情が寄せられています。

ごみ集積所は、町内会・自治会などでお金や人手を出し合って管理しています。そのため、他の地区からごみを持ち込まれると、その地区の住民の負担が増えて、大変な迷惑をかけます。

また、ごみ集積所が満杯となり、住民の人たちが捨てることができず外に放置しておく、カラスなどに荒らされ、害虫の発生など衛生環境が悪化する原因となります。

通勤途中などに、他の地区の集積所にごみを出すことは絶対にしないでください。ごみは、自分が住んでいる場所のごみ集積所に出してください。

※引越し等で住みはじめ、どの集積所にごみを出していいかわからない方は、近所の方や町内会長さん、アパートの管理人さんに確認して、トラブルが起きないようにご協力をお願いします。

## 介護のココロ

☎76-2111・内線1184 市福祉部長寿社会課

### ◆ 介護についての相談など受け付けます

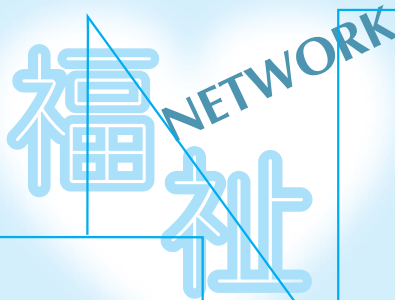
市福祉部長寿社会課内の市地域包括支援センターは、介護に関する悩みや相談を受け付けます。高齢者の皆さんの人権やサービスを守るため、成年後見制度の紹介や虐待の早期発見にも取り組んでいます。お気軽に問い合わせください。

また、身近なところで相談できるよう、各地区に在宅介護支援センターを設置していますのでご利用ください。

▶ 西根地区 ① 西根在宅介護支援センター(☎75-1255、むらさき苑内)、② 西根北部在宅介護支援センター(☎64-1110、西根北部デイサービスセンター内)

▶ 松尾地区 ① 松尾在宅介護支援センター(☎71-1012、介護老人保健施設希望内)

▶ 安代地区 ① りんどう苑在宅介護支援センター(☎73-2860)、② あしろ苑在宅介護支援センター(☎72-3511)



学びの窓  
がっけい

# みんなの力と心を合わせて 目標に向かってがんばろう



親子で参加のチャンスレースでは、保護者もハッスル(平笠小)

親子で参加のチャンスレースでは、保護者もハッスル(平笠小)や用具準備など、それぞれの役割で活躍。大会テーマとして掲げた目標に向かい、全校が一丸となつての取り組みを見せました。児童や生徒たちは、それぞれの心に大事な思い出の1ページを刻みました。

5月16日から30日にかけて、市内小中学校で運動会が行われました。児童や生徒たちは、この日のために練習を重ねてきた成果を十分に発揮しようと、それぞれの組に分かれて元気に躍動。家族や地域の皆さんが支え、見守る中で



紅白両軍の熱のこもった応援合戦(安代小)

駆け回り、飛び跳ね、優勝を目指して奮戦しました。徒競走や綱引きといったおなじみの種目に加えて、親子レースなど各校で特色あるプログラムで熱戦が展開されました。自分の出場する種目以外でも、仲間たちへ大きな声援を送り、場内アナウンスや用具準備など、それぞれの役割で活躍。大会テーマとして掲げた目標に向かい、全校が一丸となつての取り組みを見せました。



講演を通じて、市の農業について学びました

松尾中は、松野、寄木、柏台の3小学校を卒業した生徒が入学する学校です。松尾中の教育は、個の人格の完成と幸福の増進、地域を担う次世代の育成を目指し、学力向上、健全育成、不適応への細やかな対応、部活動の活

みんなの学校紹介②  
松尾中学校  
○月×日△曜日

性化などに取り組んでいます。3月には「農と輝の大地」学習推進プロジェクトチームを立ち上げ、地域の現状と課題を学び、やがては卒業生を巻き込んだ、世代を超えて自ら発展するチームにし、地域を担う次世代の育成に寄与します。将来、遠く離れて暮らすことになる生徒にとっても、ふるさとの風土・文化・産業を学び、地域で生きる人の魂に触れることは、人生を豊かにする大きな財産となります。このプロジェクトの第1回として、5月21日に、JA新いわて西部管農経済センターの佐々木勘一米穀園芸課長から市の農業の現状についての講演を聞き、地域のすばらしさと課題を学びました。

所在地/八幡平市野駄14-57  
学校長/石井修直  
教職員数/22人 学級数/7学級  
生徒数/181人 ホームページ/  
<http://academic1.plala.or.jp/matuo/>  
『ねがい』  
「自分を生かすためのみならず、  
いつか出会う人のために  
尽くせる力をつけてほしい」